

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年6月6日発行

2019.5.27～2019.6.2 第22週

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第19週	第20週	第21週	第22週
水痘	2 0.50	7 0.70	5 1.00	1 0.50		6 1.20	4 2.00	33 1.22	58 1.00	733	○	○	○	○
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20	1 0.50	1 0.33		1 0.50	6 0.22	11 0.19	90				
感染性胃腸炎	12 3.00	68 6.80	19 3.80	15 7.50	6 2.00	39 7.80	1 0.50	283 10.48	443 7.64	7,463	◎	◎	◎	◎
手足口病			2 0.40			1 0.20		5 0.19	8 0.14	117				
伝染性紅斑	3 0.75	6 0.60	8 1.60		1 0.33	18 3.60	5 2.50	10 0.37	51 0.88	2,330	○	○	◎	◎
突発性発しん	7 1.75	2 0.20	6 1.20	1 0.50	2 0.67	3 0.60	2 1.00	24 0.89	47 0.81	581	○	○	○	○
ヘルパンギーナ						3 0.60		2 0.07	5 0.09	16				
インフルエンザ	15 2.14	3 0.20	6 0.75			1 0.13		16 0.36	41 0.44	30,357	◎	◎	◎	○
咽頭結膜熱		1 0.10	4 0.80	3 1.50	3 1.00			9 0.33	20 0.34	297				
流行性角結膜炎		7 2.33						2 0.33	9 0.75	61				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64 16.00	20 2.00	8 1.60			40 8.00	2 1.00	74 2.74	208 3.59	4,314	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00				1 0.20	2 0.17	82				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	2 0.50	2 0.20	3 0.60			1 0.20		24 0.89	32 0.55	614		○	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								2 0.40	2 0.17	25				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3					1						
	川崎病							1						
	不明発しん症							5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

仙南管内 男性1名
塩釜管内 女性1名
仙台管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O91)

仙台管内 女性1名

4類感染症: つつが虫病

仙南管内 女性1名
栗原管内 女性1名
レジオネラ症

仙南管内 男性1名
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性2名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

仙台管内 男性1名 (Enterobacter cloacae)

侵襲性肺炎球菌感染症

石巻管内 男性1名

梅毒

仙台管内 男性1名, 女性1名

播種性クリプトコックス症

大崎管内 女性1名(第21週)

百日咳

石巻管内 男性1名

仙台管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[水痘]

気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
大崎, 石巻管内で注意報レベルを継続中です。
仙台管内で注意報レベルを超えました。

[伝染性紅斑]

石巻, 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙南, 石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

石巻管内 第21, 22週採取分 ノロウイルスGⅡ群 2件
石巻管内 第22週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第19週採取分 (5.6～5.12)	第20週採取分 (5.13～5.19)	第21週採取分 (5.20～5.26)
RSウイルス	1件	2件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	3件	0件

4. 今週のコメント

【つつが虫病】

県内では今週2例の報告がありました。つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺されることにより感染するため、野外活動の盛んになる春と秋に報告が多く、昨年9例の患者が報告されています。潜伏期間は1～2週間程度で、38℃以上の高熱、全身倦怠、頭痛や筋肉痛に加え発疹の出現が特徴です。抗菌剤が有効ですが、治療の時期を逸すると重篤になり致死率が高くなります。ツツガムシは草地に生息していることから、草刈りや山菜採り、レジャー等の際には注意が必要です。虫に刺されたような刺し口がみられ、上記の症状が出た際には早期に受診して下さい。

【水痘】

県内で水痘の患者が増加しています。水痘は、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスというウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。今週、県内全域で注意報開始基準値の1を超えたことから、県では注意喚起を行いました。特に気仙沼管内では警報レベルの2を超えています。今後の流行に十分注意し、予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

